

大規模地震を想定し、防災体制の確保を図る ～防災（情報伝達）訓練を実施～

信濃川河川事務所は、9月3日（木）に、地震・津波を想定した防災（情報伝達）訓練を行いました。

訓練は、日本海を震源とするM8.0の地震が発生し、信濃川河川事務所管内の長岡市・燕市が震度6弱、小千谷市・魚沼市で震度5強を観測し、沿岸には大津波警報が発令されたとの想定で行い、地震発生時の迅速かつ的確な初動体制の確認を行うと共に、情報収集・伝達・共有などの情報伝達手段を確認しました。



情報班

津波遡上の監視、自治体派遣職員からの情報集約、時系列情報の整理



災害対策室大型表示版
CCTVカメラを活用し、
津波遡上の状況を報告



巡視状況報告を集約



災害班

被災状況報告、応急復旧工法の検討



管理班

施設に異常が無いか河川巡視・点検を指示



広報班

分かりやすい言葉で、情報発信



総務班

職員の安否確認について報告



問い合わせ先：北陸地方整備局信濃川河川事務所

広報担当 専門官 小林 正夫（内線216）

TEL：0258-32-3020

FAX：0258-33-8168